

'70

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 569 号

1970.9.8 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

会報はご家族みんなで読みましょう

「隔りを取り除こう」

出席報告

本日の出席	会 員 数	64名
	出 席 数	46名
	出 席 率	71.88%

欠 席 者 長谷川(文)君、長谷川(悦)君
早坂(徳)君、平田(圭)君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君、伊藤君、加藤君、小池君、金野君、嶺岸君、三井(賢)君、岩網君、廖君、手塚林蔵君、辻君、富樫君、藪田君

前回の出席	前回出席率	73.44%
	修正出席数	54名
	確定出席率	84.38%

マークアップ 阿部(襄)君—酒田東RC
阿宗君—新庄RC
阿部(公)君、早坂(源)君、金野君、三井(徹)君、齋藤(栄)君、齋藤(信)君、鈴木(善)君—鶴岡西RC

ビジター 土田富之丞君—一村上RC

会員バッチ贈与 新会員 佐々木敏全君

会長報告 (副会長代行)

報告事項の一つは、例年行われております

英語弁論大会の後援の依頼であります。本クラブとしてカップと楯を寄贈したいと思っておりますので、ご報告申し上げます。予算はとっております。なお、9月20日9時から15時までで、鶴岡南校講堂で行われ、会員の参列の案内が参っております。

2番目は、青い鳥からのおねがいでありますが、青い鳥の会で、皆の集いという会を催し、その内容は、肢体不自由児を満光園に11月1日に招待したいという主旨のようであります。ついて、各所から寄付をあおいでいるとのことで、当クラブからもスマイルボックスから1万円を出費したいのでご報告いたします。なお、寄付だけで償い出来ませんので音楽会を10月21日に、市体育館で行って、それで資金カンパを求めようという考えのようであります。時間は6時30分からで入場料は一般が200円、中学高生全が100円との事で、当クラブにも、支援を求められており、次回の例会で一般券50枚と学生券50枚を、袋とともにお願いいたしますので、出来るだけきいていただくこととし、袋の中に代金を入れていただくようにおねがいします。

3番目は、RI財団より、張先生に御礼の手紙が、英文と和文と両方参っております。そのうち和文をお読みいたします。過去2度

に亘り、ロータリー財団では、貴殿をポール・ハリス・ヒーローとして表彰申し上げる光栄に浴しております。今日再び寄付を賜り、ロータリー財団管理委員会よりの感謝の辞をお伝えいたしますことを喜ぶものであります。世界平和ならびに国際理解への要求は、年とともにたかまっており、貴殿より賜りましたような御支援を通じて、ロータリー財団では、これらの目標の主旨に向って活動が出来るのであります。末筆ながら御健勝をお祈りいたします。としたためてあります。

4番目は、嶺岸会員の父君が逝去されましたので、会長と幹事がおくやみに参りました。なお、今日13時から葬儀が挙行されておりますが、例会終了後、副会長と幹事が参りたいと存じます。

次は、スマイルボックスを遊佐、余目、温海に今間壮太郎さんから贈られましたところ、会長と今間さんあてに、遊佐クラブ会長から御礼状が届いております。

新会員佐々木敏全氏の紹介 小花盛雄君

NHK局長の佐々木さんを紹介いたします。東京都神田の生れで、日本大学の経済学科を卒業されてからNHKにお入りになって、アナウンサーとしてスタートをなされました。

主として芸能番組を担当されたそうで、その後は番組の総括センターの主幹となられて番組編成という非常に重要な業務を担当されました。同時にコンピューターをNHKに導入されました、NHKの業務の近代化に多大の御尽力をなさったベテランです。

私共会員として、このように素晴らしい方を会員にお迎えしたことは、クラブとしても光栄のことで、皆さんどうぞよろしくおねがいいたします。

なお引続き、新会員佐々木敏全君より入会に際し、ユーモアを交えたご挨拶がなされました。

小花盛雄君

当クラブがスポンサーとなって設立された鶴岡高専インターアクトにRIからの認証状が、どういうためか非常におくれおくれになっておりましたが、このほど到着したので、ご報告いたします。

インターアクトの認証状はこういうものであり、これを鶴岡高専インターアクトから永

久に保存していただきたいと思っております。

同時に英文の書類が沢山参りましたが、これは1970年度の世界中のインターアクトクラブの名簿であります。この名簿の中には、鶴岡高専のインターアクトが載っております。しかし、一番大事な認証状の送付がおくれたのであります。これは、当時担当しておりましたクラブのインターアクトの委員長の不手際だろうと思ひまして、お詫びするとともに今後どうぞ鶴岡高専インターアクトクラブの育成にお力添えをおねがいいたします。

ゲスト 佐藤伊吉先生の紹介 石黒慶之助君

千葉大学名誉教授佐藤伊助氏であります。佐藤先生は鶴岡の出身であり、荘内中学としての一番最後の御卒業かと思ひますが、その後現在の医学部の前身医専に入学なされまして、その後引続き千葉に居住なされ、医師をなされております。

たまたま、医師でありながら歯科の方の専攻をなされまして、特に口腔外科の方の権威者であります。現在は日本大学の口腔外科の教授やら、国立第一病院の口腔外科の臨床のご指導を行っておられます。

そんなことで私も大変お世話になった恩師でありまして、このたび郷里の御親戚にお芽出たがあり、お出でになられたのです。このチャンスを利用して、お話ししていただく厚釜しいお願いをいたしましたところ、自分の出生地のロータリークラブに顔出さずには大変光栄なので、喜んで出てみようということで、心よくお出を叶えられて私も大変有難く思っております。

ここの会員の鈴木善作さんや、鈴木弥一郎さんは、御親戚であります。先生は、顎の戦傷の権威者であります。今日は、そのようなお話でなく、別の面白いお話をさせていただくことになっておりますので、御静聴をおねがいします。簡単ではありますが、ご紹介申し上げます。

佐藤伊吉先生

クラブ活動というものが、どういうことをしているのかということ、私の教え子にも相当数の会員が居るのですが、精しく勉強したことがなかったのであります。

今話があったように、何かスピーチをということでしたが、こまりまして昨晚石黒先生

に湯田川で教育を受けまして大いに勉強したわけでありませう。結局私の言葉でクラブ活動の精神を要約してみますと、高い生活の団体的な実践によって、人間完成理想社会の実現をはかる。これがクラブの精神と思うのであり、誠に結構なことでありませう。

当節世の中が大分変調をきたしまして、大阪の万博に行くにも遺言を書いて行かねばならぬような時世が目出てきて、人類は一つの兆域につき当っているというような感じがいたしますので、こういう活動によって理想社会が出来るということは誠に有難いことと思ひます。私はクラブの会員ではありませんが、長年子弟の教育に従ってきて、その間いろんな人間関係で、いま申し上げた理想に向けて突進しておられる姿を側面的にながめてみたのでありませう。その感想の一端をのべますが、むしろ私は教をいただくつもりで、参ったのであり、余り堅くならないでこいと云われてきたのでありませう。頭はつつぬけて空でありませう。これから私の感じたことを莫然と申し上げたいと思うのでありませう。

おききしますと、会員に名前だけかかげてあとは知らん顔をしている人がいないかと伺ったら、そういう人は一人もないとのことまた全員がクラブに奉仕し役員になるのだとのことでありませう。ですから一人としてぼんやりしている人は居らず、今の理想に向けて活動実践する。即ち実践によって理想が実現するということだ。

先程石黒先生のお宅にお伺いしましたら、殿様の書かれた「怠るなかれ」という軸がかかげられ、これを前にして朝から晩まで座ったらとてもぼんやりしておられないと、石黒先生の活動ぶりも誠にこういうことが、大きな支えになっているではないかと思ひておりました。

私も人間ですが、人間は、本能をもっている。平たい言葉で云えば慾であり、慾が即ち生命なりと云えます。東大のある先生がかかげたものにもう一つの本能を加えておりました

それは集団本能というもので、一人では生きられない、それは実感としてある訳です。ところが、動物の世界では、猿なら猿と集団がありますと、その中では強いものが上に立ち弱いものが従うという具合でうまくいっているのでありませう。同志を殺すという事はな

っている人間が、何千前の古い歴史を持ち、いろんなことをみてきながら、今なお戦闘があるということ、ある意味では人間ほど馬鹿なものはない気がするのです。

これはまた慾というものにつながるものでないかと思うのでありませう。慾即ち本能の満足は感覚の窓を通してはじめて出来るのですから、よかったということを感じるのも、感覚の窓を通してでありませう。ですから、感覚は弧的なもので、全てに対して弧的なものでござらぬ、かたより易いのでありませう。いたいとか、うれしいなどは自分が感じてはじめて受けとれることであり、人のことはわからない。人のことはわからないと云って、我がよければよいんだ、人はどうでもというようなことになり易いのでありませう。

それで結局私の人生の教の先生石丸悟平先生という方がおられますが、その先生の教えによれば、慾望の合理化、慾望そのものには實際社会において始めて価値というものが出来る。人間生活において慾が始めて価値に変わる訳である。例えば、芸術的価値だとか或は道徳的価値その他のいろんな価値が出来る訳でありませうが、慾望そのものは価値以前のものであり、腹がへったからいい易いとか、いったものではないと、合理化が出来るか否かに、問題がかかっているのでありませう。

こういうようにとられているのですが、要するに慾望が我だけよいというような世界の業が控えております。そして業をなくするためには行を積む。即ち修養をつむことです。しかしこれは仲々云うべくしてむずかしい。

我というものには内側の我もあれば外もある。内の我というのは、これ医師のことで失礼ですけれども、あとまわしの古い脳と新しい脳とあって、古い脳というのは動物共通で新しい脳は人間だけが発達したものである。

ところが、動物の慾を満す方法は天然自然の姿でいいのでありませう。ちゃんとその姿で間に合っているのでありませう。何の古くもありませんし病気にもなりません。

ところが人間の場合は、本能或は慾をとげるのは、衝動によるものでありませう。新しい即ち大脳の命令によって行われるもので、古い脳の方は非常に合理的に出来ているのでありまして、即ち自律神経とか、ホルモンとかの作用によって、我々がしらないうちに食べ

るとチャンと消化して皆糞になって出てくるようなものであります。ところがそれを実際にあやつっているのは大脳の方で、これが先程云ったわれがよければどこまでも廃除していくという人間の、非常に精巧に出来ているがために、却って不完全なドーアが強くなってきて、今なお戦争がやまないというような状態になっているのではないかと思うのであります。

ところで、こういうお互いに勝手なことをした人を相手にする、あるいは自分もそうだとお互がこうして行こうじゃないかという集いは非常に有意義に思うのであります。

ところで、一人では生きられない、一人で生きられないのに我だけが生きて行けばよいというような風に出てきているという、仲々社会の理想という風なことがとられない。

レーニンは万人は一人のため、一人は万人のためといった仲々高い理想を掲げたものでこれは釈迦様に云わしむれば慈悲で、キリストの愛、孔子の仁に相当するものと思えますが、これを実践にうつすには先ず我をとらなければならぬ。又他人に対してもこういうことがいいということをしてあげなければならぬけれども、先程も言いましたように、要するに人の為のことを我々外の善としますと、善のためにすることはここを通してはじめて出来るのであります。

自分が病気か何かで苦しんだときに助られて、始めて感謝というものが生れる。こういう感謝を強くするということが、善にうつるところの基準だと私は考えるのでありましてその場合に、若い頃は自分のことを考えればよいと思った。ところが、段々年をとりますと、私がこういう風に生きているのも人様のお蔭だから、何とか人様のためにもやらなければならぬと、そういう感が段々と強くなってきます。そうしてそれをやって行きますとそれをやるのが一つのたのしみとか愉快とかの幸福感が生じてくるのであります。

これは実践しないと出来ないものであります。孔子は徳孤ならず必ず隣ありといっておられます。仏教の言葉で云えば情は人のためならずということも同じだろうと思えますが要するに、おのれをむなしゅうして人のためにやった有難さが自分に帰ってくる。

このことが我々を理想に向って努力させる根元でないかと信じるのであります。そうい

うことで昨日も、当クラブでロータリー傘を備えて、雨の降ったときに困った方に借すような仕組をしたが、傘が戻らなくてこまるという話が出ましたが、それは施して必ず返ってくると思うていたところに、人間のあさましさを否定していると、皆施せば戻ってくるということではなく、傘はなくなったら補給して行くことによって、先程云ったように、困ったときに助けられて始めて有難さがわかり、人に施してやろうという原動力になるということだと思ひ、こういう活動の継続をすすめた訳であります。

これは日本のみでなく、世界的な活動ですから、若しこの精神が普遍して世界に行けば戦争などはなくなる方向に進むと信じ、我々の生きがいを感じてくるのであります。要するに一人一人では仲々力が出ないので、何事もまとまりを持たなければならぬ、まとまりをもったらいろんな力量の人、得意な人、丈夫な人、弱い人、という風にいろいろランクがありますが、先ず会長さんなどは非常な苦勞をされているでないかと思ひます。

しかし、これも固定したものでなく、ぐるぐる廻りだそうですから、誠にいい制度と考えています。このようなことで、皆様が職業の別を問わず自分が生きているというなりわい、仕事、職業を通じて、融和世界をきざき上げようとする意慾を益々たかめて私の郷土のご発展を心からおねがいます次第であります。私としては、お招きをいただき、この席でこういう話をさせていただいて奇怪に思われる方もおありかもしれませんが、そういう意味合いで皆様に敬意を表する次第であります。過般私の先輩の林信夫先生がおりましてその方が図書館に林文庫を創設した方です。

その節には、皆様から御支援御助力を得まして、あの庫が出来たことを私は後輩としてこの席をお借りして厚く御礼申し上げる次第であります。

幹事報告

- 会報到着 鶴岡西RC、白鷹RC、石巻RC、郡山RC、東京RC、能代RC
- 例会場変更 鶴岡西RC 9月11日、9月18日、9月25日 会場ホテル山王閣
- ロータリー問答集到着 希望者は申出でのこと。実費頒布
- ゴルフ大会 352地区の年次大会の親善ゴルフ大会が10月2日(金)8時スタート、岩手ゴルフ新山コース18ホール 9月20日メック